

もっと広がる クスリの世界

運転前に確認したい副作用

初夏の陽気に誘われて、ドライブに出かけたくなる季節ですね！さて、運転する前に、普段飲んでいるお薬について確認したことはありますか？

実は、私たちが何げなく服用してい

市販薬でも油断大敵

る薬の中には、運転に影響を及ぼす可能性のあるものが少なくありません。眠気や目まい、集中力の低下、視界がぼやけるなど、運転中にこんな症状が現れると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

特に注意が必要な薬とは？風邪薬やアレルギー薬に含まれる抗ヒスタミン薬は、鼻水やくしゃみなどを抑える一方で、強い眠気を引き起こすことがあります。「眠くなりにくい」と表示されている薬でも、体質によっては影響が出ることがあるため、油断は禁物

です。

また、不安を和らげる薬や眠りを助ける薬も要注意です。これらは、判断力や反射神経を鈍らせる可能性があります。医師から処方された場合は、必ず運転しても大丈夫かどうか確認しましょう。

さらに、意外かもしれませんが、市販の胃腸薬や下痢止めにも注意が必要です。これらには、胃腸の動きを抑える成分や、中枢神経に作用する成分が含まれていることがあり、まれにふらつきや眠気を引き起こすことがありま

す。市販薬だからと安心せず、服用後に少しでも異変を感じたら、運転は控えましょう。

安全に運転するためにできることは？まずは、薬の説明書をしっかり読み、副作用に「眠気」「めまい」「注意力低下」などの記載がないか確認し、リスクを確認しましょう。また、処方薬だけでなく市販薬についても、運転などへの影響が心配な場合は、医師や薬剤師に相談しましょう。薬の服用は健康管理に欠かせませんが、運転や日常生活への影響を正しく理解すること

が重要です。

体調に不安がある場合は、自分のこととして考えるだけでなく、周囲の人々に迷惑をかけることがないように、無理に運転をしないようにしましょう。薬の使い方を見直し、正しく管理することで、安全で安心な生活を送ることができます。

(加藤 寛史・県病院薬剤師会常任理事)

<毎月第4火曜日に掲載>